

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月●日

計画の名称	1 広島県における流域下水道事業の推進			
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	広島県	
計画の目標				

太田川、芦田川及び沼田川は、それぞれ本県を代表する河川であり、生活用水をはじめ、工業用水、農業用水として重要な水源となっている。また、瀬戸内海も本県の経済を支えるとともに、日本初の国立公園に指定されるなど県民の貴重な憩いの場になっている。
 一方、各河川の流域は、近年都市化の伸展がめざましく、公共用水域の汚濁が進行している状況にある。
 このため、太田川、芦田川及び沼田川の各流域下水道事業により、広域的な下水道整備のスケールメリットを働かせ、健全な水環境の回復を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)	・各流域の市街地部から発生する汚水を浄化し、公共用水域へ排出される汚濁物質を削減する。(汚濁物質の削減量：H22当初9,700t→H26末12,500t)			
-----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考
								当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
各流域下水道の終末処理場で、流入汚水を処理して汚濁物質 (BODで表示) を除去する量。 1年間で除去する汚濁物質 (BODで表示) の量 (t) = 【流入水質BOD - 放流水質BOD】 × 年間処理下水量 (t)							9,700t	11,300 t	12,500 t		
全体事業費	合計 (A+B+C)	6,589百万円	A	6,589百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%	

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
広島県下水道公園課において実施。	事業実施完了の翌年度。
	公表の方法
	広島県のホームページで公表。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業												全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)						
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	太田川流域下水道 東部浄化センター	ポンプ施設 (ポンプ設備) (41,650m3/日)	広島市						0	
1-A1-2	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	太田川流域下水道 東部浄化センター	水処理施設 (41,650m3/日)	広島市						1,747	
1-A1-3	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	太田川流域下水道 東部浄化センター	汚泥処理施設 (濃縮・消化・脱水設備) (41,650m3/日)	広島市						779	
1-A1-6	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	太田川流域下水道 調査・設計	新設整備調査・設計、未 利用エネルギー活用検討 等	広島市						46	
1-A1-101	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	芦田川流域下水道 芦田川浄化センター	ポンプ施設 (ポンプ・沈砂池設備) (33,600m3/日)	福山市						2,067	
1-A1-102	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	芦田川流域下水道 芦田川浄化センター	水処理施設 (33,600m3/日)	福山市						1,289	
1-A1-103	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	芦田川流域下水道 芦田川浄化センター	汚泥処理施設 (固形燃料化施設) (24,400wet-t/年)	福山市						77	H28まで
1-A1-105	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	芦田川流域下水道 調査・設計	新設整備調査・設計、未 利用エネルギー活用検討 等	福山市						23	
1-A1-201	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	新設	沼田川流域下水道 沼田川浄化センター、沼田川処理区	汚水管 L=4.8km (マン ホールポンプ、計測計器等 含む)	三原市・東広島市						511	H23-24:地域自 主戦略交付金
1-A1-202	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	沼田川流域下水道 調査・設計	新設整備調査・設計、未 利用エネルギー活用検討 等	三原市						50	H23-24:地域自 主戦略交付金
											合計					6,589	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

2. 事業効果の発現状況, 目標値の達成状況															
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況							各流域の処理区から発生する汚水を浄化し、公共用水域へ排出される汚濁物質を削減した。								
II 定量的指標の達成状況							汚濁物質 (BOD) で除去する量	最終目標値	12,500t	目標値と実績値 に差が出た要因	目標どおり達成した。				
							最終実績値	12,628t							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															
3. 特記事項 (今後の方針等)															
引き続き流入汚水量に応じた施設整備を行うとともに、芦田川浄化センターにおいて下水道汚泥の資源利用を推進する。															